

平成21年 4月15日

新宿区長

法人名 特定非営利法人東京山の手まごころサービス
 所在地 新宿区高田馬場1-32-7 信ビル301号
 (フリガナ) (コニシ ノブヒコ)
 代表者氏名 代表理事 小西 伸彦

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	こめこめ倶楽部 ステップアップ事業																						
実施日時又は期間	平成20年6月1日～平成21年3月31日まで(10ヶ月)																						
対象者の範囲及び人数	新宿区内に居住する高齢者、障害者、特に閉じこもりがちの単身高齢者を主要対象とし、そこに家族も加わるように工夫した。延べ参加人員数 約590名(前年比115%)																						
事業内容	<p>* 楽しく、気楽に、無理なく参加でき、参加者同士が人間的交流のできる「居場所づくり」を目的とした参加型のイベントふれあい事業を継続的に行った。</p> <p>* 「ひきこもり防止対策」として、戸山団地区域内の「けやき園」で「出前講座」(ADL体操と茶話会)を開催した。</p>																						
具体的な活動状況	<p>1. ふれあいいいきいきサロン事業結果(継続実施)</p> <table border="0"> <tr> <td>お花見交流会(4月8日)</td> <td>戸塚福祉見本市(10月12日)</td> </tr> <tr> <td>たこ焼きづくりの会(4月24日)</td> <td>菊見の会(11月5日)</td> </tr> <tr> <td>マジックを楽しむ会(5月26日)</td> <td>エコ手芸の会(11月19日)</td> </tr> <tr> <td>新茶を楽しむ会(6月24日)</td> <td>クリスマス会(12月19日)</td> </tr> <tr> <td>コサージュづくり(7月10日)</td> <td>舞とお茶の会(2月4日)</td> </tr> <tr> <td>フラダンスの会(7月25日)</td> <td>絵手紙の会(2月12日)</td> </tr> <tr> <td>落語を楽しむ会(8月28日)</td> <td>蕎麦打ちの会(3月6日)</td> </tr> <tr> <td>音楽療法の会(9月25日)</td> <td></td> </tr> </table> <p>* については早稲田大学落語研究会の協力を得た。</p> <p>2. 戸山団地ステップアップ事業(出前いきいきサロン ADL体操と茶話会)</p> <table border="0"> <tr> <td>4月18日(戸山団地集会所)</td> <td>1月23日(けやき園)</td> </tr> <tr> <td>11月21日(戸山団地内けやき園)</td> <td>2月20日(けやき園)</td> </tr> <tr> <td>12月12日(けやき園)</td> <td>3月27日(けやき園)</td> </tr> </table>	お花見交流会(4月8日)	戸塚福祉見本市(10月12日)	たこ焼きづくりの会(4月24日)	菊見の会(11月5日)	マジックを楽しむ会(5月26日)	エコ手芸の会(11月19日)	新茶を楽しむ会(6月24日)	クリスマス会(12月19日)	コサージュづくり(7月10日)	舞とお茶の会(2月4日)	フラダンスの会(7月25日)	絵手紙の会(2月12日)	落語を楽しむ会(8月28日)	蕎麦打ちの会(3月6日)	音楽療法の会(9月25日)		4月18日(戸山団地集会所)	1月23日(けやき園)	11月21日(戸山団地内けやき園)	2月20日(けやき園)	12月12日(けやき園)	3月27日(けやき園)
お花見交流会(4月8日)	戸塚福祉見本市(10月12日)																						
たこ焼きづくりの会(4月24日)	菊見の会(11月5日)																						
マジックを楽しむ会(5月26日)	エコ手芸の会(11月19日)																						
新茶を楽しむ会(6月24日)	クリスマス会(12月19日)																						
コサージュづくり(7月10日)	舞とお茶の会(2月4日)																						
フラダンスの会(7月25日)	絵手紙の会(2月12日)																						
落語を楽しむ会(8月28日)	蕎麦打ちの会(3月6日)																						
音楽療法の会(9月25日)																							
4月18日(戸山団地集会所)	1月23日(けやき園)																						
11月21日(戸山団地内けやき園)	2月20日(けやき園)																						
12月12日(けやき園)	3月27日(けやき園)																						
事業の成果	<p>地域住民、高齢者、障害者が気楽に集まれる場所、自分も人も自然のままに交流できる居場所づくりを目指して平成18年から取り組んだ結果、3年間の活動が実を結びつつあり、「こめこめ倶楽部」の輪が広がりをみせてきた。特に、高齢化率の高い戸山団地、戸塚地区での住民同士のコミュニケーションの場づくりに貴重な存在として、今後への期待も寄せられている。</p> <p>NPO法人として、行政の手の届きにくいインフォーマルサービスの重要性が益々高まってきていることを実感している。</p>																						

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収 入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額
	団体負担金			680,702 円
	参加費・資料代等	参加費（300 円×199 人）		59,700 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金交付額 500,000 円		
	計	1,240,402 円		
支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳 ）	費 目	決算額	内 訳	
	会議費	97,854 円	会場費 21,400 円（大久保地区センター7 回） 会議用資料作成費 = 76,454 円（書籍代 14,200 円 + ビックカメラ 40,360 円 + ヨドバシカメラ他 21,894 円）	
	宣伝費 （注：東京山の手まごころサービス共通で制作した物につき、当該事業割合が 1/3 であることから 30%を負担した）	311,248 円	「まごころだより」作成費 58,569 円（9 回・195,230 円×0.3） ホームページ作成費 104,590 円（10 回） チラシ作成費 52,684 円（印刷費・フリーダム 15,281 円藤商会 4,363 円 + 構成設計 33,040 円） カレンダー作成費 718 円×250 部×0.3 = 53,855 円（30%分担分） 諏訪町会名簿掲載費 56,000 円×0.3 = 16,800 円 暑中見舞い・年賀はがき 24,750 円（50 円×220 枚 + 55 円×250 枚）	
	リース費	18,990 円	信ビル会議室使用料 1,500 円×3 回 = 4,500 円 高齢者疑似体験用具賃借料 14,490 円	
	消耗品費	46,274 円	事務用品 44,265 円（竹宝商会 14,565 円、あるふぁプラス 29,700 円） ゴミ処理代 2009 円（9 回分）	
	謝礼	191,777 円	講師謝礼 191,777 円（1 回 3 時間）（23,000 円×1 団体 + 22,222 円×1 人 + 20,000 円×1 団体 + 11,111 円×5 人 + 11,000 円×1 人 + 10,000 円×2 人 + 5,000 円×8 人）	
	人件費	82,500 円	世話人謝金 82,500 円（2,500 円×19 人 + 2,000 円×8 人 + 1,500 円×2 人 + 1,000 円×16 人）（各人 1 回当たり担当時間は 3～4 時間）	
	材料費	70,927 円	クリスマス会 17,246 円、舞とお茶の会 10,545 円、そば打ちの会 23,507 円、その他 4 回・19,629 円	
	交通費	146,190 円	都内交通費@794.51 円×184 人 = 146,190 円	
	その他諸経費 （保険 30%負担の根拠は、宣伝費と同じ）	119,130 円	活動保険 45,990 円（153,300 円×30%） + 郵便代 52,815 円（176,050 円×0.3） + 宅配便 13,125 円（ヤマト 5 回・8,950 円 + 佐川 2 回・4,175 円） + 行事参加者送迎交通費 7,200 円（1,200 円×6 回）	
	助成対象事業費（小計）	1,084,890 円		
余 剰 金	0 円			
助成対象外事業費	155,512 円	リース費 22,500 円 その他 3,385 円（講師タクシー代他） 助成対象期間前実施事業 129,627 円		
事 業 総 額		1,240,402 円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	この事業は、「地域密着」を重要課題としてスタートした活動である。まごころサービスが新宿区における20年の活動経験を生かし地域福祉に貢献することを目指してスタートさせた「こめこめ倶楽部」の活動成果が着実に実りつつあることが実証された。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	<p>主な地域効果</p> <p>参加者の中に、「介護認定から漏れた軽度の方」、「軽度の在宅認知症高齢者のリピート参加者」、「行政の筋トレや集団指導を敬遠した高齢者」、「歩行困難な障害者」などの増加が目立った。「けやき園」での定期開催実現で、戸山団地独居高齢者と入居者との心の交流ができた。</p> <p>今後見込まれる効果</p> <p>平成20年にスタートした戸山団地での「出前講座」は、11月から団地内老健施設「けやき園」ホールを利用しての毎月開催が実現し、地元高齢者と入居者との交流の場ができた。介護保険制度の利用が制限される中で、高齢者の介護予防に「こめこめ倶楽部」の活動が評価され、今後もインフォーマルサービスとして期待が大きくなっている。</p>
新たに気づいた課題は何か。	<p>居場所づくり」のキーワードは「協働」であり、必要とされるパートナーは「行政」、「社協」、「地区協議会」、「住民」である。</p> <p>行政の公的制度だけでは、高齢者、障害者の暮らしは支えられない。足りない部分は、行政と住民がお金と知恵と汗を出し合い補っていき、すなわち、NPO法人をはじめ地域住民が担う仕組みをつくる必要がある。</p>
理解者や支援者が広がったか。	3年目を迎えたこの活動は多くの地域住民、地区協議会、戸山団地自治会、地域包括支援センター、社会福祉協議会、戸塚地区地域福祉会議、新宿区高齢者サービス課、民生委員および早稲田大学の理解と協力が得られ、「こめこめ倶楽部」の評価が年々高まっていることが実証された。
事務局の執行体制は十分だったか。	<p>一昨年度より、事務局内に「まごころこめこめ倶楽部」の事業部門を設置し、代表、副代表を中心に、地域活動の中核部門として年間を通して完璧なスケジュール管理を行っている。</p> <p>イベントの企画、プログラム作成、広報活動、会計、スケジュール進行などを世話人会10名で担当し、参加者のニーズに応えてきた。但し、協力会員・利用会員への周知徹底については、なお課題が残った。</p>

<p>今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。</p>	<p>地域福祉の取り組みで、最も大切なことは、地域住民、特にお年寄り、障がいを持つ人々を地域で孤立させないことである。そのためには、これらの人々が気軽に集まれる場を利用できるように整備することが必要である。</p> <p>「まごころこめこめ倶楽部」の3年間の活動を通して、戸山団地を含む独居高齢者への対応が重要課題であると認識した。</p> <p>今後の新たな事業提案としては次のようなことが考えられる。</p> <p>地域に根ざした交流活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供を持つ母親、ボランティアなど幅広い参加 ・ 常に守られているという安心感の醸成 <p>「こめこめ倶楽部」のメニューのリフレッシュ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提供型から参加型のメニューを加える ・ 高齢者の自立を促進するための講演会 ・ アビリティプログラムの導入
<p>その他</p>	

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

* 参加者の意見なども報告してください。

4 活動の成果

【活動の成果】

ほぼ毎月、できるかぎり同一施設で、バラエティのあるカリキュラム(体操、音楽、ダンス、朗読、語り、お茶会)に基づく気楽に参加できるイベントを行うことにより、リピート参加者が増えてきた。

福祉車両の利用で、歩行困難な高齢者、障害者を参加しやすくした。

戸山団地内での「出前講座」では、改めて都市在住独居高齢者の居場所づくりの重要性が確認され、地域住民や老健施設、行政等との協力体制のなかで具体的行動に取り組むことの必要性が確信できた。

【参加者の感想・意見】

- ・ こめこめ倶楽部ができてから、外出する楽しみが増えた。
- ・ 毎月多彩なプログラムが生まれ、参加させて頂くのが楽しい。
- ・ 年末のクリスマス朗読とオカリナ演奏では、「一杯のかけそば」のシーンで涙が出るほど感動した。
- ・ 足が弱くて、つい出掛けるのをためらっていたが、福祉車両の送迎で参加でき、感謝している。
- ・ 早稲田大学落研の落語寄席には笑い世代間交流ができ、久しぶりに感動した。今後も定期的に催してほしい。
- ・ 「けやき園」での高齢者ADL体操では、入所者との交流ができて外出する楽しみが増えた。(戸山団地居住者より)
- ・ 認知症の主人が、こめこめ倶楽部に参加してから会話ができるようになり、表情が明るくなった。